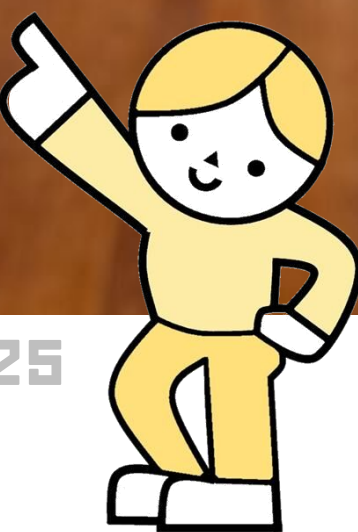




【ニューノーマル3の施策②】
いじめゼロ
いじめは複雑化・深刻化しやすく、センシティブで困難な問題です。子ども達には、「いじめの定義」「相談の仕方」「いじめが起きてしまったときの行動」を指導して、辛さを抱え込ませない態度や、いじめに対して大きい、小さいはないという態度を身に付ける必要があります。守谷市は、新たないじめ対策として「いじめ・不登校ゼロバック+（プラス）」を市内小中学校全てで取り組んでいます。



THE THIRD NEW NORMAL OF MORIYA 2025



きらめき守谷 夢彩都

守谷市教育委員会

〒302-0198 茨城県守谷市大柏950番地の1 電話：0297-45-1111（代表）
https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shisetsu/g_sisetu/gyousei/kyouiku/index.html

もりやビジョン2025

ニューノーマル3

FUTURE OF EDUCATION MORIYA NEW NORMAL THIRD 2025



【ニューノーマル3の施策①】
学力向上
子どもたちの学力の向上はみんなの願いです。学力向上は、よりよい授業を通して実現できます。分ける授業、楽しい授業のためには、子供の困りやつまずきを把握して授業づくりに生かしていきます。子どもが学習に集中し、主体的・協働的に学ぶために、ICT機器を有効活用しながら、子どもの考えを大切に、子どもたちの確かな学力の定着と、学力向上にむけた先生の授業力の向上を目指します。



THE THIRD NEW NORMAL OF MORIYA 2025



きらめき守谷 夢彩都

守谷市教育委員会

〒302-0198 茨城県守谷市大柏950番地の1 電話：0297-45-1111（代表）
https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shisetsu/g_sisetu/gyousei/kyouiku/index.html

もりやビジョン2025

ニューノーマル3

FUTURE OF EDUCATION MORIYA NEW NORMAL THIRD 2025



守谷市長 松丸 修久



【守谷市教育目標】 新しい時代をたくましく生きぬく人づくりを目指して



ニューノーマルさん



時代の壁を乗り越えて、守谷はこれからもウェルビーイングな教育を目指します。

THE THIRD NEW NORMAL OF MORIYA 2025

確かな学力の育成

1 「守谷型ラーニングスタイル」

- ・「自律した学習者」を育成する探究的な学び(課題解決型学習)と ICT の効果的な活用
- 【NEW】「守谷型ブラッシュアップ研修」
- ・「探究的な学び」を実現するための全教職員による授業づくり研修と実践の往還
- ・基礎・基本を確実に身に付けるための繰り返し学習
- 【NEW】適切な学びにつなげる「生成 AI」の活用
- ・表現をより良くしたり、内容を確認したりすることを目的とした「生成 AI」の活用
- 学びを深める学習支援アプリ (MetaMoji) × 1 人 1 台端末 × 電子黒板の活用
- ・各自の考えの整理、全体での比較・検討場面での活用

2 世界とつながる「守谷型英語・グローバル教育」

- ・英語での発信力を高める交流学習の充実と学習環境の整備
- 【NEW】AI パフォーマンステスト、スピーキングテスト(小6、中2対象：年2回)
- ・AI による英語表現力の評価と、個人への結果フィードバック
- ・1 人 1 台端末で海外とつながり、表現力を高めるオンライン英会話(小5・6 年対象：年3回、中1～3 年対象：年4回)
- 【NEW】文部科学省 教育課程実践検証協力校事業(外国語)

3 未来を切り拓く「情報活用教育」

- ・小中学校9 年間で取り組む「守谷型情報活用能力育成プログラム」の実施
- 【NEW】「情報活用能力アセスメント」(小1～中3対象：年1回)
- 主体的・対話的で深い学びの実現のための教職員の ICT 活用能力の向上
- ・守谷市教職員研修ポータルサイトの設置

4 一人一人に寄り添う「特別支援教育」

- 【NEW】発達性ディスレクシアを早期に発見、支援するための「読み書きスクリーニング」の定期的な実施(小1、中2)
- ・特別支援教育ソフトを活用した多面的アセスメントによる個別の指導計画の作成

健康と体力を育む教育の推進

1 児童生徒の健やかな身体づくり

- ロング昼休み「遊ゆうタイム」の実施
- ・のびのび遊ぶ時間を確保するためのロング昼休み
- 【NEW】地域の「防災教育ワークショップ」
- ・災害時の行動を学ぶための大学教授による講演や防災ゲームの導入
- 守谷型カリ・マネを生かした部活動改革「アーリーデー」
- ・50 分×2 コマ=100 分の活動時間
- ・シーズン制を導入し、大会前には 120 分活動可
- ・部活動の地域移行の推進

2 子どもたちと向き合うために

- 市費負担教職員による小学校教科担任制
- ・理科、音楽、図画工作の教科担当教職員による専門性の高い指導
- 学習支援ティーチャーの配置
- 「マイ・ミュージアム」による掲示物ゼロ
- 業務の効率化を図る「生成 AI」の活用

地域とともにある学校づくり

地域とともにみんなのために

- コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)と地域学校協働活動の一体的な推進
- ・学校と家庭間の情報のデジタル化、ペーパーレス化
- 地域人材「もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク」を活用した教育活動
- 持続可能な社会の担い手の育成
- ・市環境動画コンクール
- ・人権週間に合わせた作品の募集・展示(習字やメッセージ)

豊かな心を育む教育の推進

「いじめ・不登校ゼロパック+」

- 「いじめ防止プログラム」の継続
- ・道徳、特別活動(学級活動)を通したコミュニケーションスキルの定着並びに人権意識の向上
- ・いじめをなくそう仲良し月間(5 月・9 月・11 月)
- 【NEW】専門家の指導助言による「いじめ防止プログラム」教職員研修の実施
- ・市・学校いじめ対策本部の設置によるいじめの組織対応
- 居心地のよい学校・学級づくり
- ・いじめ対応研修
- ・授業力改善研修
- 自分に合った多様な学びの場の充実
- ・サタデー学習支援教室(小4～小6 対象)



・ALT と学ぼう(小学生対象) ・[みんなの学びサポート広場](#)

【「みんなの学びサポート広場」はこちらをクリック↑↑↑ か、上記 QR コードから↑↑↑】

- 児童生徒と家庭を結ぶ「守谷型スクールソーシャルワーカー」を中学校区に1 人配置
- 【NEW】児童生徒の「心の居場所」となる「校内フリースペース」の全校設置
- ・4 つの Free(いつでも どこでも 何を学んでも 個に応じて)に基づいて、各校常駐のフリースペース支援員があたたくサポート
- 【NEW】守谷市総合教育支援センター内フリースペース「はばたき」との連携
- 教育相談体制の強化
- ・守谷市総合教育支援センター相談員による、子どもへの関わり方などについての相談・対応(不登校や登校しぶり、いじめ、言葉や発達の遅れなど)

守谷型カリ・マネ 週3 回の 5 時間授業が守谷型改革の土台

もりやビジョン2025

新常識の深化・発展

もりやの
教育改革



守谷型カリ・マネ
【平成 31 年度～】

第 1 次プラン
【平成 31 年度】

第 2 次プラン
【令和 2 年度】

第 3 次プラン
【令和 3 年度】

ビジョン 2022
【令和 4 年度】

ビジョン 2023
ニューノーマル
【令和 5 年度】

ビジョン 2024
ニューノーマル 2
【令和 6 年度】

ニューノーマル 3

FUTURE OF EDUCATION MORIYA NEW NORMAL THIRD 2025